

地方自治体における業務プロセス・システムの標準化
及びA I・ロボティクスの活用に関する研究会
報告書骨子案

1. はじめに

- (1) 本研究会の目的
- (2) これまでの取組
- (3) 本研究会のアプローチ

2. 現状のミクロの課題

- (1) 業務プロセス・システムの標準化における課題
- (2) A I・R P A等のI C T活用における課題
- (3) 住民・企業等との間の申請・通知等における課題

3. 2040年頃までに実現すべき姿 【今回御議論いただく】

- 生じうる課題
- 実現しうる技術の可能性
- 目指すべき「スマート自治体」の姿

4. 2020年代に実現すべき姿

- 行政手続を紙から電子へ
- 行政アプリケーションをオンプレミスから全国的なサービスへ
- 自治体もベンダも、守りの分野から攻めの分野へ

5. 実施すべきマクロの方策

- (1) ロードマップ 【今回御議論いただく】
- (2) 業務プロセスの標準化
- (3) システムの標準化
- (4) A I・R P A等のI C T活用普及促進
- (5) 電子化・ペーパーレス化、データ形式の標準化
- (6) データ項目・記載項目、様式・帳票の標準化
- (7) システムやA I・R P A等の共同化（全国サービス化）
- (8) 人材面の方策、都道府県等による支援 【今回御議論いただく】

6. 終わりに